

高岡市立西五位公民館

◆事業の目的

ふるさとの歴史探索と豊かな自然を親子で体験し、地域住民とふれ合いながら社会性を育む。宿泊体験を通して共同生活のルールを身に付け、異年齢との心の繋がりや協調性を培う。

◆事業の流れ

実施日	活動名	場所	参加人数
5月 8日（日）	西山歴史探索と山菜採りにいこう	福岡町西山丘陵一帯	45名
8月 27日（土） ～ 28日（日）	西山の自然体感と公民館でのお泊り体験しよう	福岡町西山丘陵一帯 西五位公民館	31名
1月 29日（日）	冬の自然をかんじき履いて体験	福岡防災センター一帯	31名

◆事業の様子

☆「西山歴史探索と山菜採りにいこう」

親子参加で、保存会の方の西山一帯の古墳やお城跡の説明後頂上へ。古墳を見てにらみ砦や鴨城の跡で歴史を聞き山百合の蕾も見た。住民が栽培されている椎茸取りや、ワラビやぜんまいの山菜採り体験しながら山を走り回りました。

☆「西山の自然体感と公民館でお泊り体験しよう」

子供だけの参加とし公民館から西山を登山。2ヶ所の展望台で休憩し町並や小矢部川を眺めた。古墳や山、展望台の保存の話など聞き、途中木を粉碎している方に話を聞いたりして2時間30分全員踏破した。お風呂も当然なく「ない」体験として、プールに張った水で体を拭き足を洗う。バーベキューの準備で包丁の使い方を全身体験したり、花火や童話を読んで貰うなど楽しくて眠れなかった。翌朝ラジオ体操の後、花火のゴミ拾いの後美味しい朝食を食べた。集会室で異形の木片を利用してクラフト作り、写真立てやジグソーパズル、大きな駒など思い思いの作品をつくった。

☆「冬の自然をかんじき履いて体験しよう」

ナチュラリストから冬に活動する動物や足跡などスライドで説明聞く。かんじき履いて雪の中を歩いたり雪合戦などした。県内に2ヶ所（国吉、土屋）にしか生息していない「ジャコウアゲハ」のさなぎを木枝で見つけた。防災センター展示の小矢部川に生息する魚や器具類等について説明を聞いた。昼食には地元のこしひかりのおにぎりとり芋煮をいっぱい食べて交流した。



◆事業の成果と課題

「ふるさと」は、当たり前すぎて外ばかりに目がいく現代です。今回ふるさとの歴史や自然体験をして素晴らしさを再発見したと思います。山の中で栽培されている椎茸取りや山菜場所の確保等、大きな協力を頂いた地域の皆さんの温かさを痛感した。挨拶や協力など協調性についても学んでいながら大きくなる子供達に一度はふるさと体験をして温かい繋がりを覚えていて欲しいと思う。今後も有意義な体験が出来るよう計画していきたい。